

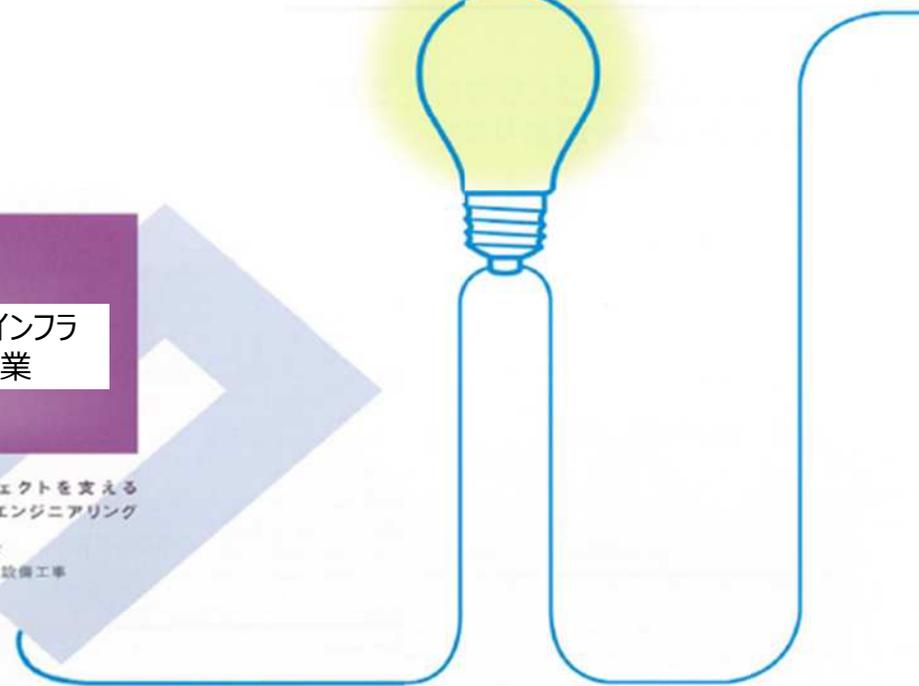


2020年3月期

決算説明資料

2020年 5月25日

株式会社 弘電社



内線事業

多種多様な建物に高度な電気設備を設計、施工

▶ 事業フィールド
 オフィスビル、工場、病院、マンション等の受変電、発電、動力、照明、通信情報、監視・制御、防犯・防犯設備等の新築・リニューアル工事

社会インフラ事業

大規模プロジェクトを支える先進のプラントエンジニアリング

▶ 事業フィールド
 各種発電所・変電所設備工事

送電事業

設備建設から更新・保守まで、雇いた技で電力の安定供給を実現

販売事業

技術商社として三菱電機製品を販売



1. 連結経営成績

2019年度 ハイライト

- 売上高 **357** 億円：前年比減収ながら持続的達成目標値比改善
- 経常利益 **26.0** 億円：前年比減益ながら業績予想値比改善
- **収益性は高水準**を維持：経常利益率、ROEは過去最高の昨年に次ぐ水準を確保

単位：百万円	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		2016-19 4ヶ年平均	持続的 達成目標
	実績	実績	実績	直近業績予想	実績		
売上高	37,294	33,983	37,527	36,000	35,654	36,115	35,000 以上
経常利益	1,881	1,715	2,826	2,350	2,600	2,256	経常利益率
%	5.0	5.0	7.5	6.5	7.3	6.2	4% 以上
当期純利益	1,212	1,152	1,961	1,500	1,737	1,516	—
%	3.2	3.4	5.2	4.2	4.9	4.2	—
ROE (株主資本利益率 %)	9.0	8.0	12.5		10.2	10.0	ROE 6% 以上
総資産	28,798	27,340	29,808		29,216		
総資産回転率	1.30	1.24	1.26		1.22		
株主資本	13,997	14,922	16,524		17,557		
株主資本比率 %	48.5	54.4	55.2		59.8		
借入金 (除リース負債)	750	710	750		680		
借入金比率 %	2.60	2.60	2.52		2.33		
フリーキャッシュフロー	△ 234	582	730		546		
配当 (円/株)	120.0	120.0	200.0		220.0		
配当性向 %	17.8	18.5	18.1		22.5		

【 持続的達成目標 】

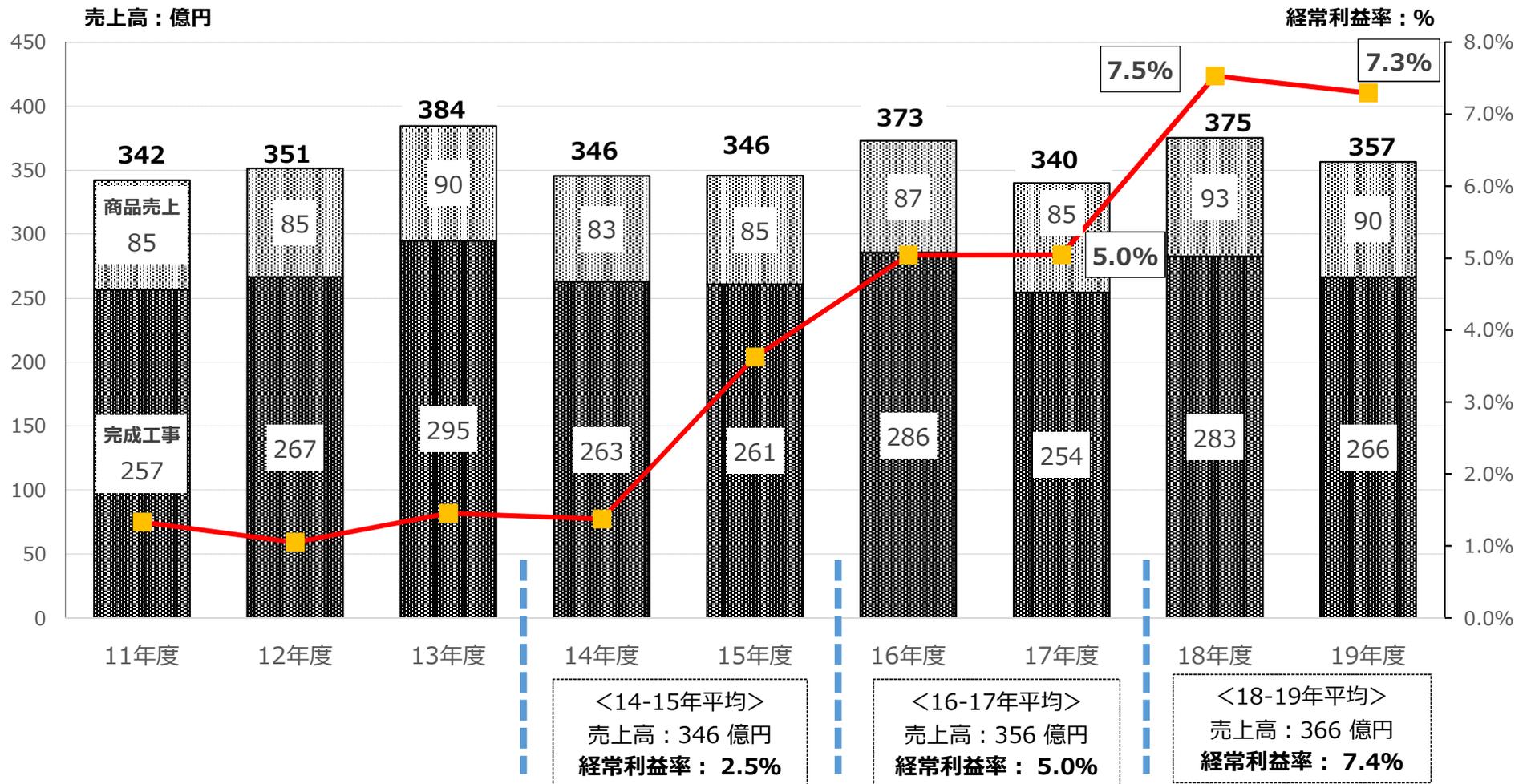
- ◇ 2016年4月末に、2020年3月までを対象期間とした目標値として、「**持続的に達成すべき経営指標**」を設定。
- ◇ 第1ステージ(2016/4~2017・3)での達成状況を踏まえ、2018年4月末に、もう一段高い指標を再設定。

経常利益率
3%以上 ⇒ 4%以上

2. 売上高・経常利益率の推移

業績推移 ハイライト

- 2014年度以降 経常利益率は改善傾向で推移
- 2019年度 経常利益率は 7.3%（持続的目標の4%以上をクリアし、高水準を維持）



3. セグメント情報

セグメント ハイライト

- 2019年度 前年比減収（商品販売は90億円を確保）となるが、収益性は維持／改善
- 電気設備工事の利益率は改善傾向で推移、17年度以降、10%以上を確保

単位：百万円		2014年	2015年	2014~15 平均 (a)	2016年	2017年	2018年	2019年	2016~19 平均 (d)	変動	
					(b)	(c)	c - b	d - a			
電気設備 工事	売上高	26,287	26,085	26,186	28,556	25,438	28,267	26,637	27,225	-1,630	1,039
	セグメント利益	1,079	1,970	1,525	2,640	2,552	3,672	3,538	3,101	-134	1,576
	%	4.1%	7.6%	5.8%	9.2%	10.0%	13.0%	13.3%	11.4%	0.3%	5.6%
商 品 販 売	売上高	8,437	8,814	8,626	8,965	8,752	9,423	9,196	9,084	-227	459
	セグメント利益	369	349	359	340	355	350	339	346	-11	-13
	%	4.4%	4.0%	4.2%	3.8%	4.1%	3.7%	3.7%	3.8%	0.0%	-0.4%
財務諸表 計上額	売上高	34,557	34,570	34,564	37,294	33,983	37,527	35,654	36,115	-1,873	1,551
	セグメント利益	423	1,211	817	1,799	1,693	2,724	2,541	2,189	-183	1,372
	%	1.2%	3.5%	2.4%	4.8%	5.0%	7.3%	7.1%	6.1%	-0.2%	3.7%

注：① 上表は、決算短信の「セグメント情報」より作成

② 商品販売にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含んでおり、損益計算書に計上する商品売上高とは一致しない。

4. 貸借対照表 [連結]

貸借対照表 ハイライト

- 2019年度末 総資産残高は 292億円の水準（前年度末比6億円減）
- 主要な経営指標は、業績の改善により前年に次ぐ高水準の指標を維持

連結BS 単位：百万円	期末残高			平均残高		
	2018年	2019年度	変動	2016~17	2018~19	変動
流動資産	23,567	23,383	-184	21,641	23,475	1,835
現金預金	2,301	2,178	-123	1,671	2,240	569
売掛債権	14,353	14,204	-149	15,532	14,279	-1,254
短期貸付金	6,070	5,522	-548	3,230	5,796	2,567
固定資産	6,240	5,832	-408	6,428	6,036	-392
有形固定資産	1,360	1,346	-14	1,667	1,353	-314
投資その他の資産	4,805	4,403	-402	4,683	4,604	-79
資産合計	29,808	29,216	-592	28,069	29,512	1,443
流動負債	12,822	11,166	-1,656	12,308	11,994	-314
買掛債務	8,386	7,979	-407	9,134	8,183	-952
短期借入金	750	680	-70	730	715	-15
未払法人税	907	369	-538	252	638	386
固定負債	461	492	31	1,301	477	-824
退職給付に関わる負債	160	123	-37	934	142	-792
負債計	13,283	11,659	-1,624	13,609	12,471	-1,138
純資産計	16,524	17,557	1,033	14,460	17,041	2,581
資本金・資本剰余金	2,590	2,590	0	2,590	2,590	0
利益剰余金	13,861	15,244	1,383	11,643	14,553	2,910
現預金	2,301	2,178	-123	1,671	2,240	569
貸付金（短期・長期）	7,170	6,522	-648	4,280	6,846	2,567
手許流動性	9,471	8,700	-771	5,951	9,086	3,135

主要な経営指標		
総資産回転率 (Total Assets Turnover)	2019	1.22
	2018	1.26
自己資本比率 (Equity ratio)	2019	59.8%
	2018	55.2%
自己資本利益率 (Return On Equity)	2019	10.2%
	2018	12.5%
総資産利益率 (Return On Assets)	2019	8.8%
	2018	9.9%
株価収益率 (Price Earnings Ratio)	2019	4.2
	2018	4.3
配当性向 (Payout Ratio)	2019	22.5%
	2018	18.1%
1株当たり当期純利益 (Earnings Per Share)	2019	979.4
	2018	1,105.7
1株当たり純資産 (Book-value Per Share)	2019	9,856.8
	2018	9,279.4

5. 資金収支 [連結キャッシュフロー]

資金収支 ハイライト

- 2019年度 フリーキャッシュフローは **546百万円**（営業キャッシュフロー△204百万円）
- 業績の改善を受け、フリーキャッシュフローは **2017年度以降黒字を継続**

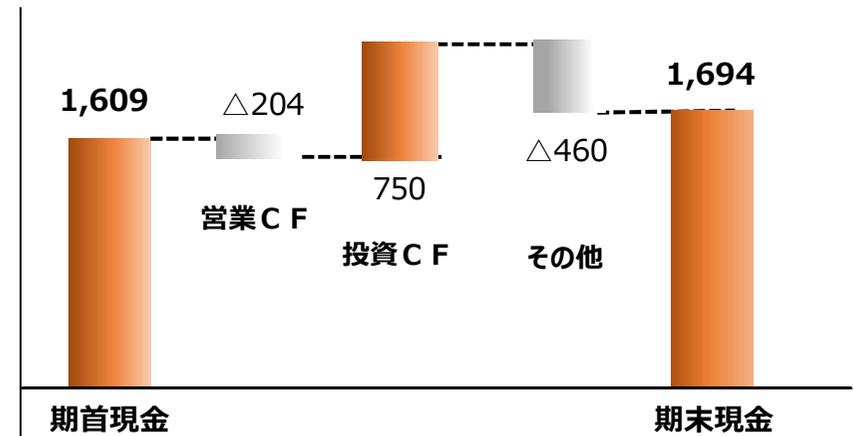
単位：百万円

フリーキャッシュフローの推移



単位：百万円	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
売上高	34,557	34,570	37,294	33,983	37,527	35,654
売上原価	30,404	29,400	31,461	28,233	30,456	28,661
粗利益	4,153	5,170	5,833	5,750	7,071	6,992
粗利率	12.0%	15.0%	15.6%	16.9%	18.8%	19.6%

2018→2019年度 変動内訳



単位：百万円	短年度指標					累計指標（2年間）		
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	前年比	2016~17	2018~19	変動
期首現金	1,206	794	1,088	1,609	521	1,206	1,088	-118
営業C F	-1,017	2,577	2,232	-204	-2,436	1,560	2,028	468
投資C F	783	-1,995	-1,502	750	2,252	-1,212	-752	460
フリーC F	-234	582	730	546	-184	348	1,276	928
財務C F	-158	-289	-191	-446	-255	-447	-637	-190
その他	-19	1	-16	-14	2	-18	-30	-12
期末現金	794	1,088	1,609	1,694	85	1,088	1,694	606

6. 「持続的に達成すべき指標」の達成状況

成長目標 ハイライト

- 2016～2019年度の4ケ年の活動期間において、売上高・経常利益率・ROEいずれの指標も目標値を超過して達成
- 特に収益性（経常利益率）と健全性（ROE）指標は、過年度実績比大幅な改善

単位：百万円	2014年	2015年	2014～15年 2ヶ年平均 年間	持続的に達成すべき経営指標		- 2016年4月設定目標値達成のための活動期間 -				2016～19年 4ヶ年平均 年間
	年間	年間		2016年4月 当初設定	2018年4月 見直	<ステージ1>		<ステージ2>		
	年間	年間		年間	年間	年間	年間	年間	年間	
売上高	34,557	34,570	34,564	350 億円以上	350 億円以上	37,294	33,983	37,527	35,654	36,115
経常利益 (%)	475 1.4%	1,253 3.6%	864 2.5%	3.0 %以上	4.0 %以上	1,881 5.0%	1,715 5.0%	2,826 7.5%	2,600 7.3%	2,256 6.2%
当期利益 (%)	226 0.7%	800 2.3%	513 1.5%			1,212 3.2%	1,152 3.4%	1,961 5.2%	1,737 4.9%	1,516 4.2%
ROE	1.8%	6.2%	4.0%	5.0 %以上	6.0 %以上	9.0%	8.0%	12.5%	10.2%	10.0%

7. 持続的目標値の再設定 [2020年度以降の目標値]

成長戦略 ハイライト

- 中期的な指標と位置づける「**持続的に達成すべき目標値**」は、**2019年度で超過して達成**
- 2020年度以降も、持続的な成長を遂げるべく一段高い目標値を設定し活動推進

持続的に達成すべき経営指標				
	当初設定 2016年4月	見直 2018年4月	平均実績 2016年4月～2020年3月	新たな目標値 2020年4月
売上高 (成長性)	350 億円 以上	350 億円 以上	361 億円	370 億円 以上 400 億円 達成
経常利益率 (収益性)	3.0 % 以上	4.0 % 以上	6.2 %	5.0 % 以上
ROE (健全性)	5.0 % 以上	6.0 % 以上	10.0 %	8.0 % 以上

【目標値設定の考え方】

全世界の経済はコロナウイルス感染拡大により大きく棄損しており回復までには相当期間を要するものと想定されるが、短期的な経済環境の変化を考慮せず、中長期の「**弘電社が持続的に達成すべき経営指標**」との位置づけで設定するもの

売上高：今後の成長についても、基本的には過去の成長率（前活動期間4%）の継続を最低限の目標として設定

・ 2016～2019年度平均売上高の4%成長 $361\text{億円} \times 104 = 375\text{億円}$

・ 前回設定の売上目標値の4%成長 $350\text{億円} \times 104 = 364\text{億円} \Rightarrow$ **売上高：370億円以上と設定**

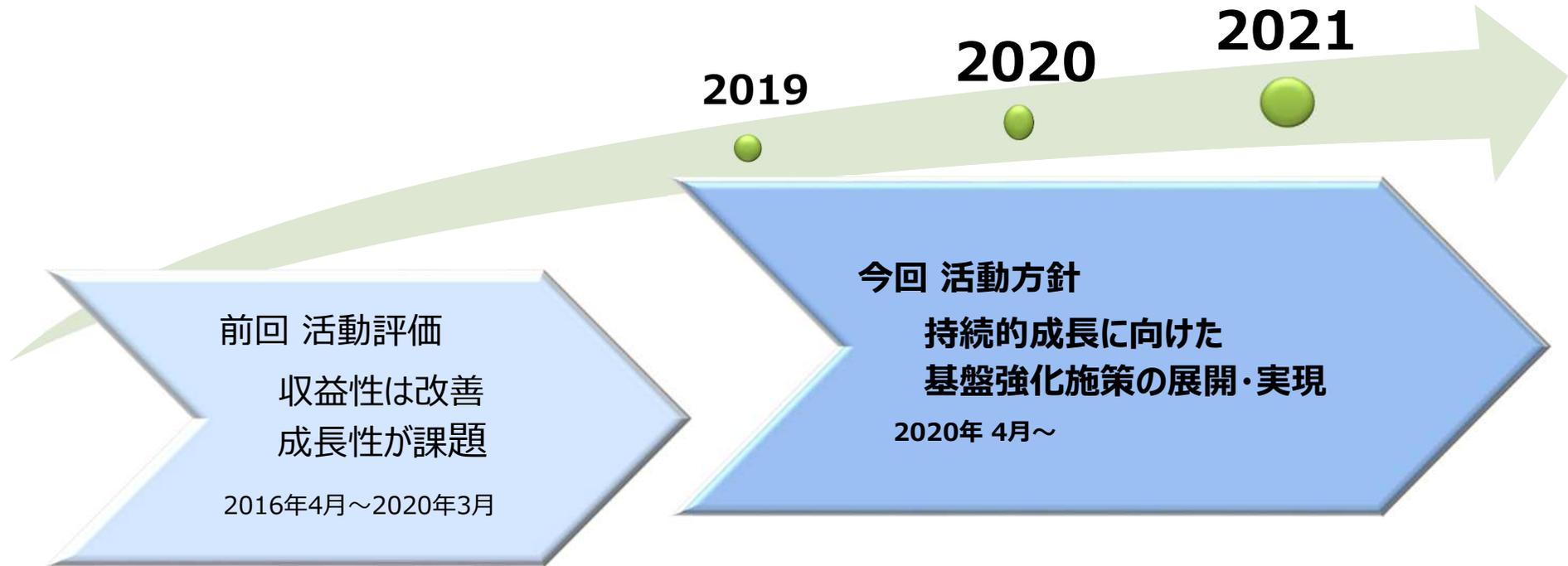
尚、施工体制・事業推進体制の強化に並行して取組み、売上高 400億円（設備工事 300億円・商品販売 100億円）を目指すべき指標と位置づけ活動を展開

経常利益率：収益性の更なる改善に継続して取組み、**経常利益率：5%以上** を目標値として設定

ROE：一般的に公開企業が求められている、**ROE：8%以上** を目標値として設定

活動期間：市場環境の変化が大きいことを踏まえ、**2年毎に達成評価を行い目標値の評価、再設定も行う**運営とする。

8. 成長戦略 ① [営業基盤強化・事業領域拡大]



基本方針

- ◇ 安定を基盤に**成長に一步踏み出す**
施策： ①営業基盤の強化・拡大 ②事業領域の拡大
- ◇ **働き易く、働き甲斐のある会社の実現（業務革新 推進）**
施策： ①人財・施工力強化 ②成長のための戦略投資

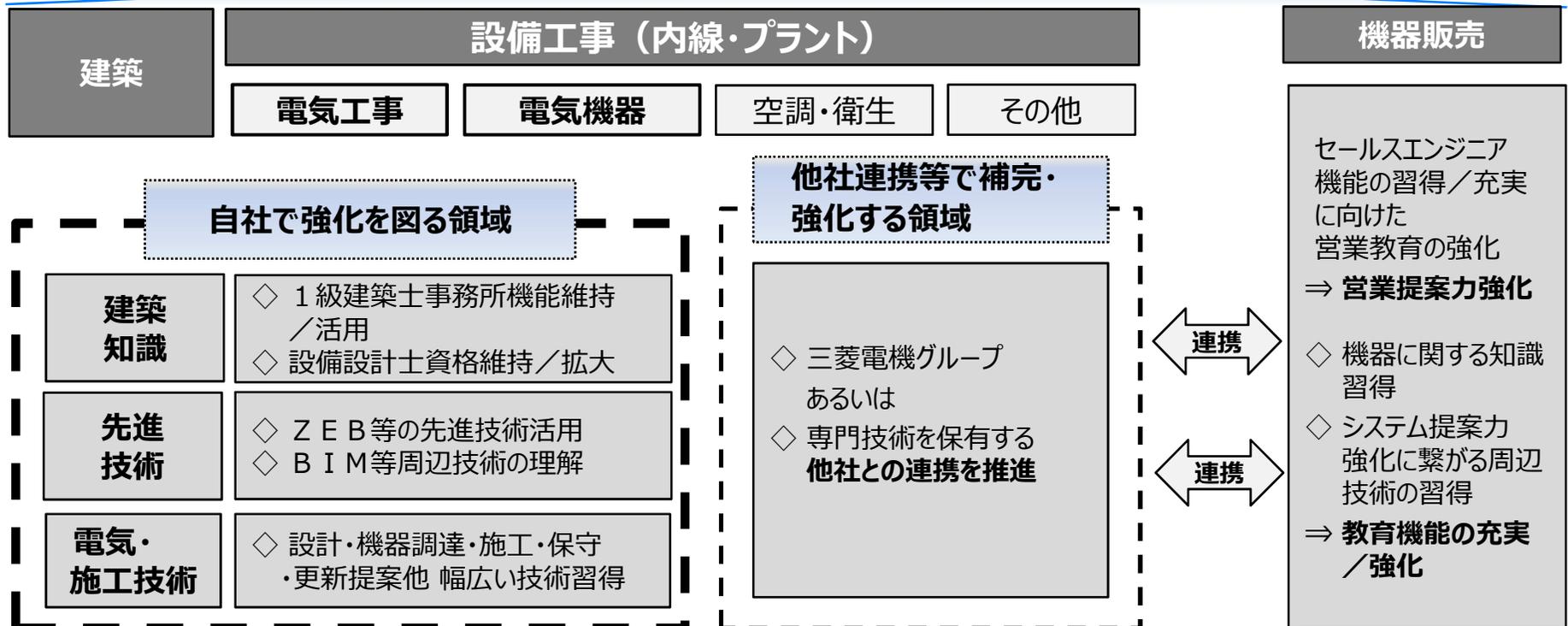
9. 成長戦略 ② [営業基盤強化・事業領域拡大]

営業力強化 ハイライト

- 設計・技術連携による**提案力強化**（対応組織の機能強化）及び他社との事業連携等により**技術領域を拡大**（提案力を強化）

機器販売～工事施工 当社の全ての顧客・顧客ニーズ

機器～工事 幅広い提案力

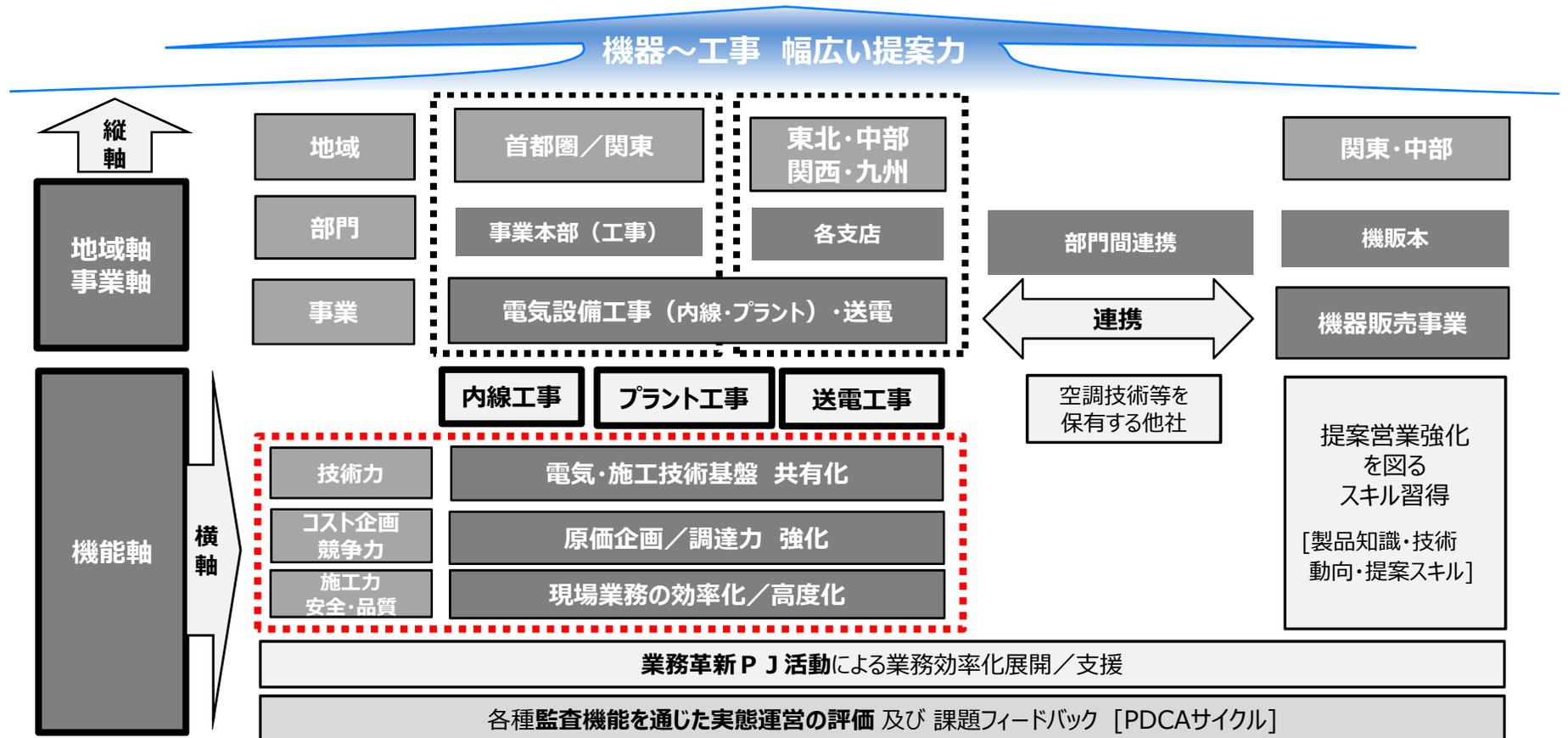


10. 成長戦略 ③ [事業推進・経営管理機能強化]

事業推進 ハイライト

- 事業基盤（地域軸/事業軸）を維持しつつ、**全社横断的な機能軸（経営基盤）強化に注力**
- 機能軸の展開には、**新たに担当する役員を配置し、ミッションの明確化／共有化を図り展開**

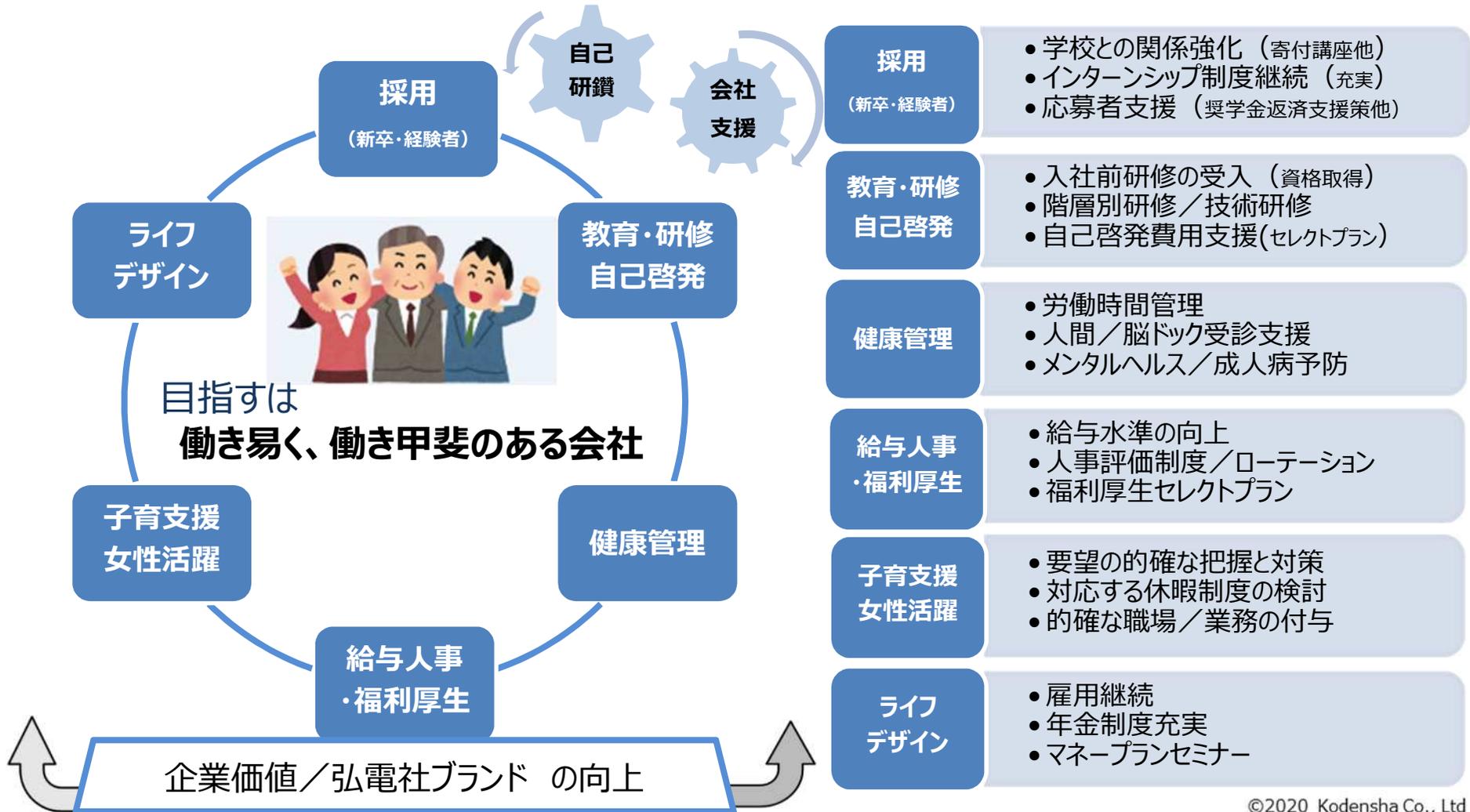
機器販売～工事施工 当社の全ての顧客・顧客ニーズ



11. 成長戦略 ④ [経営基盤強化－人財確保への投資]

人財育成 ハイライト

- 人財確保・育成に向けた投資を継続
- ライフサイクル全般にわたる施策を展開
- アフターコロナを見据えた、テレワーク等多様な就業、評価制度の確立



12. 成長戦略 ⑤ [現場力強化]

**現場力強化
ハイライト**

- 関係会社及びパートナー各社を含む **弘電社現場力強化** を継続して推進

機器販売～工事施工 当社の全ての顧客・顧客ニーズ

